

ブラジル農業サプライチェーン強化事業（融資）

持続的な農業開発と世界・日本の食料安全保障に貢献

事業概要

本事業は、ブラジル北東部地域において、生産・集荷増に対応する穀物輸送インフラ整備、農家向け耕作資金貸付・営農指導、及び穀物買付・集荷の一体的な支援を通じ、農業物流の改善と農業生産性の向上を図り、もって同地域の農業開発推進に寄与するもの。

事業スキーム



事業意義

1. 持続的な農業開発

農業フロンティアを開発する中小農家に対して、耕作資金提供のみならず営農指導や穀物買付も提供。SDGs Goal 2（持続的な農業）に貢献。

2. 食料安全保障

世界第2位の生産・輸出量を誇るブラジルは、人口増・所得水準向上で拡大する世界の穀物需要に対し、北東部地域の開発によって更なる生産拡張で応えることが可能であり、世界と日本の食料安全保障上極めて重要。

3. 日本の官民を挙げた支援

北東部の農業開発は、日伯食料・農業対話や戦略的経済パートナーシップ賢人会議での注力分野で、日本企業も穀物買付や物流インフラ（鉄道・港湾等）等に深く関与。